



AMUSE

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
コード番号 4301 URL https://www.amuse.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 正樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鈴木 啓太 MAIL amuseir@amuse.co.jp
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	39,716	3.3	797	△66.3	1,080	△58.2	361	△74.1
2023年3月期第3四半期	38,445	39.3	2,366	3.2	2,584	13.1	1,399	△21.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 14百万円 (△99.5%) 2023年3月期第3四半期 2,829百万円 (10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	21.83	-
2023年3月期第3四半期	82.73	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	59,886	37,196	55.7
2023年3月期	58,294	37,581	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 33,363百万円 2023年3月期 34,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2024年3月期	-	20.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	1.0	1,700	△46.1	1,900	△43.8	1,000	△40.9	60.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (2024年2月14日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」
をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	18,623,520株	2023年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,021,449株	2023年3月期	2,056,659株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	16,581,649株	2023年3月期3Q	16,913,213株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬B I P信託」及び「株式付与E S O P信託」が保有する当社株式（2024年3月期3Q364,280株、2023年3月期399,530株）が含まれております。また、「役員報酬B I P信託」及び「株式付与E S O P信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期3Q384,707株、2023年3月期3Q305,447株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日公開しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第3四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	38,445	39,716	1,270	3.3
営業利益	2,366	797	△1,569	△66.3
経常利益	2,584	1,080	△1,504	△58.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,399	361	△1,037	△74.1

〔経営成績の分析〕

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されました。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなりました。また、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響も引き続き注視する必要がありました。

このような状況の中、当社グループの経営成績は営業収入397億1千6百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益7億9千7百万円（前年同四半期比66.3%減）、経常利益10億8千万円（前年同四半期比58.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億6千1百万円（前年同四半期比74.1%減）となりました。

前年同四半期に比べ、株式会社極東テレビ台の株式を取得し新たに連結の範囲に含めたことにより番組制作収入が大幅に増加した他、グッズ・商品収入、レーベル収入、印税収入、映像製作収入等が増加したことにより営業収入は増収となりました。一方で、事業費補助金が減少したことに伴う費用負担の増加に加え、新規事業開発でのコストの増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

＜営業収入＞

- ・ グッズ・商品収入が増加
- ・ レーベル収入が増加
- ・ 印税収入が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ イベント収入が減少

＜営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益＞

事業費補助金が減少したことに伴う費用負担の増加に加え、新規事業開発でのコストの増加等により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	24,245	22,958	△1,287	△5.3
音楽・映像事業	10,182	12,357	2,174	21.4
出演・CM事業	4,017	4,401	383	9.5
合計	38,445	39,716	1,270	3.3

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	686	△450	△1,136	—
音楽・映像事業	1,320	877	△442	△33.5
出演・CM事業	360	369	9	2.5
調整額	—	—	—	—
合計	2,366	797	△1,569	△66.3

[イベント関連事業]

営業収入229億5千8百万円(前年同四半期比5.3%減)、セグメント損失4億5千万円(前年同四半期は6億8千6百万円のセグメント利益)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

・ イベント収入：<コンサート>

エレファントカシマシ、BABYMETAL、SEKAI NO OWARI、Perfume、NOA、BEGIN、大泉洋、神はサイコロを振らない、Skoop On Somebody、桜田通、Dios、折坂悠太、藤原さくらのコンサートツアー

サザンオールスターズ、福山雅治、宮本浩次、FLOW、DEAN FUJIOKA、s*t*k*i*n*g*zのコンサート

<舞台・公演>

熱海五郎一座「幕末ドラゴン〜クセ強オンナと時をかけない男たち〜」

ミュージカル「FACTORY GIRLS〜私が描く物語〜」

舞台「幾つの大罪〜How many sins are there?〜」

ミュージカル「ヴァグラント」

ミュージカル「ミア・ファミリア」

ミュージカル「カラフル」

ミュージカル「マリー・キュリー」

・ 商品売上収入：コンサートグッズなど

・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、ポルノグラフィティなど

<営業収入>

・ イベント収入の減少

(前年同四半期は桑田佳祐、福山雅治、SEKAI NO OWARIのコンサートツアー、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」など)

上記要因などにより減収となりました。

<セグメント損失>

イベント制作費の増加や事業開発に伴うコストの増加等により減益となりました。

[音楽・映像事業]

営業収入123億5千7百万円（前年同四半期比21.4%増）、セグメント利益8億7千7百万円（前年同四半期比33.5%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：桑田佳祐、サザンオールスターズ、福山雅治、ポルノグラフィティ、星野源など
- ・ レーベル収入：BABYMETALのライブBlu-ray&CDなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：映画「月の満ち欠け」の配信権、イベント興行の中継及び上映収入など
- ・ 映像作品販売収入：映画「月の満ち欠け」などのBlu-ray&DVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入が増加
（前年同四半期は福山雅治のオンラインライブBlu-ray&DVD、Saucy Dogのミニアルバムなど）
- ・ 印税収入（新譜・旧譜）が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

原盤制作費等の増加により減益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入44億1百万円（前年同四半期比9.5%増）、セグメント利益3億6千9百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、サザンオールスターズ、仲里依紗、星野源、ホラン千秋、安田顕、BEGIN、吉沢亮、吉高由里子、桜田通、DEAN FUJIOKA、三吉彩花、小関裕太、堀田真由、茅島みずきなど

<営業収入>

出演収入及びCM収入の増加により増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	増減
総資産 (百万円)	58,294	59,886	1,592
純資産 (百万円)	37,581	37,196	△385
自己資本比率 (%)	59.0	55.7	△3.3
1株当たり純資産 (円)	2,075.82	2,009.62	△66.2

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は598億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9千2百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動資産「受取手形及び営業未収入金」及び「仕掛品」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は226億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ19億7千7百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債「その他」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は371億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円減少いたしました。主な減少要因は、「その他有価証券評価差額金」及び配当による「利益剰余金」の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は55.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳しくは本日(2024年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,679	29,360
営業未収入金	8,635	—
受取手形及び営業未収入金	—	12,298
商品及び製品	1,170	1,472
仕掛品	762	1,857
原材料及び貯蔵品	156	146
未収入金	2,180	1,373
その他	890	1,199
貸倒引当金	△167	△73
流動資産合計	46,308	47,634
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,353	2,440
土地	1,028	1,043
その他（純額）	879	962
有形固定資産合計	4,261	4,446
無形固定資産		
のれん	226	664
その他	635	617
無形固定資産合計	862	1,282
投資その他の資産		
投資有価証券	5,582	4,287
繰延税金資産	319	863
その他	1,067	1,459
貸倒引当金	△107	△86
投資その他の資産合計	6,862	6,523
固定資産合計	11,985	12,252
資産合計	58,294	59,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	11,740	12,017
リース債務	6	6
未払法人税等	652	142
役員賞与引当金	36	—
従業員株式給付引当金	32	14
その他	6,506	8,645
流動負債合計	18,974	20,826
固定負債		
長期借入金	206	203
リース債務	3	2
役員株式給付引当金	74	107
退職給付に係る負債	1,437	1,500
その他	14	48
固定負債合計	1,737	1,863
負債合計	20,712	22,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	31,855	31,549
自己株式	△2,931	△2,858
株主資本合計	32,796	32,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,400	473
為替換算調整勘定	141	280
退職給付に係る調整累計額	51	46
その他の包括利益累計額合計	1,592	800
非支配株主持分	3,191	3,832
純資産合計	37,581	37,196
負債純資産合計	58,294	59,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収入	38,445	39,716
営業原価	32,005	34,309
営業総利益	6,440	5,407
販売費及び一般管理費	4,073	4,609
営業利益	2,366	797
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	12	6
持分法による投資利益	169	127
為替差益	9	—
保険解約返戻金	—	134
補助金収入	25	1
その他	33	31
営業外収益合計	253	303
営業外費用		
支払利息	0	3
事業組合投資損失	0	10
自己株式取得費用	32	—
為替差損	—	4
その他	3	2
営業外費用合計	36	20
経常利益	2,584	1,080
特別利益		
固定資産売却益	281	—
投資有価証券売却益	—	0
関係会社清算益	3	—
特別利益合計	285	0
特別損失		
投資有価証券評価損	10	—
投資有価証券売却損	—	5
関係会社株式評価損	1	0
関係会社株式売却損	141	—
公演中止損失	36	—
特別損失合計	190	6
税金等調整前四半期純利益	2,679	1,074
法人税、住民税及び事業税	652	392
法人税等調整額	182	△124
法人税等合計	835	268
四半期純利益	1,843	806
非支配株主に帰属する四半期純利益	444	444
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,399	361

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,843	806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	776	△926
為替換算調整勘定	213	139
退職給付に係る調整額	△4	△5
その他の包括利益合計	985	△792
四半期包括利益	2,829	14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,384	△430
非支配株主に係る四半期包括利益	444	444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	15,549	—	—	15,549	—	15,549
ファンクラブ・商品売上収入	8,696	—	—	8,696	—	8,696
音楽収入	—	5,996	—	5,996	—	5,996
映像収入	—	3,579	—	3,579	—	3,579
その他音楽・映像収入	—	605	—	605	—	605
出演・CM収入	—	—	4,017	4,017	—	4,017
顧客との契約から生じる収益	24,245	10,182	4,017	38,445	—	38,445
外部顧客への営業収入	24,245	10,182	4,017	38,445	—	38,445
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	77	77	0	155	△155	—
計	24,323	10,259	4,018	38,601	△155	38,445
セグメント利益	686	1,320	360	2,366	—	2,366

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	13,904	—	—	13,904	—	13,904
ファンクラブ・商品売上収入	9,053	—	—	9,053	—	9,053
音楽収入	—	6,607	—	6,607	—	6,607
映像収入	—	5,341	—	5,341	—	5,341
その他音楽・映像収入	—	408	—	408	—	408
出演・CM収入	—	—	4,401	4,401	—	4,401
顧客との契約から生じる収益	22,958	12,357	4,401	39,716	—	39,716
外部顧客への営業収入	22,958	12,357	4,401	39,716	—	39,716
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	598	137	13	749	△749	—
計	23,556	12,494	4,414	40,465	△749	39,716
セグメント利益又は損失(△)	△450	877	369	797	—	797

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「音楽・映像事業」セグメントにおいて、2023年10月1日付で株式会社極東テレビ台の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては479百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。